

がくしゅうかだい（2ねんせい）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞

◆「かんさつ名人になろう」(きょうかしよ 52～57 ページ)にとりくみます。
いきものやしよくぶつをかんさつして、さいごにきろくする文しょうを
書くべんきょうです。

①55 ページの「ミニトマトをかんさつした文しょう」を読みます。下に
4つのポイントが書かれているので、たしかめましょう。

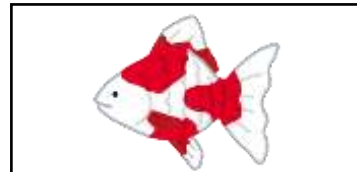
②56 ページの「ミニトマトをかんさつした文しょう」を読みます。55 ページでべんきょうした4つのポイントをさがしてみましょう。

③自分がかんさつしたことを文しょうにします。かんさつしたことをくみあわせたり、つなげたりしながら、文しょうにしてみましょ
う。また、かんたんに絵も
かいてみましょう。

(前回のメモ)

きんぎょ
六月〇日 晴れ
・あかいろとくろいろがある。
・口をぱくぱくさせている。
・ぼくの手のグーグーの大きさだ。
・ぼくに話しかけているみたいだ。

(きろくする文しょう)



六月〇日（ ）晴れ
きんぎょをかんさ
つしました。
色は赤と白です。
ぼくの手のグーグ
ーの大きさです。口
をパクパクさせて
いて、ぼくに話し
かいているみたい
です。とってもか
わいいです。

※このれいは、メモし

たじゅんに書かずに、色→大きさ→気づいたこと→思ったこと の
じゅんに書きました。書くじゅんばんもかんがえてみるといいです
ね。

※本（ずかんなど）やしやしんをつかっている人は、それを見ながら絵
をかいてもいいです。

◆あたらしいかん字「回」「歩」（61 ページ）に、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

- ・お子さんの書いた文章を読む際に、「よく観察できている」「様子が伝わってくる」という表現がありましたら、「〇〇のところがよく伝わるね」など、良かったポイントを伝えていただくと、文章力の向上につながります。
- ・付箋を使った場合は、メモした付箋を並べてみて、「どの順に書いたらいいか」を聞いてみてください。なぜその順にしたのかを話すことができれば、とても素晴らしいです。